### 全酪連会報

2022 JUL No.682



### 酪農とのかけはし/ 西川 謙さん

(酪農学園大学附属 とわの森三愛高等学校 機農コース 農場長 教諭)

特別記事 第50回 酪農発表大会に寄せて

> 第73年度(令和4年度) 事業計画案

第48回 らくのうこどもギャラリー 入賞作品紹介

父の日に牛乳を贈ろう! 前編

酪農トピックス/

中部酪青女会議主催 「農林水産省 東海農政局長への 牛乳贈呈式」の開催 (名古屋) ほか

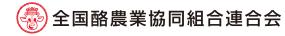
> 日本酪農見て歩紀/ 森村牧場

> > (福井県若狭町)

酪政連活動報告

人事異動





### **H**



### 第38回 農学園大学附属 こわの森三愛高等

### 夢ある酪農に 生徒を導く 情熱溢れる先生②

### にしかわ けん **西川 謙さん**

北海道瀬棚町出身。酪農学園 大学を卒業後、道内の普通高 校で6年間理科教員を務め た後、平成20年よりとわの 三愛高等学校の教員 る。現在は農場長とし スが利用する牛舎 を管理し、実習全般を担当し ている。

### 酪農から離れて 酪農の魅力に気が付いた

たが自給自足をモットーに農畜産業 高校に進学しました。普通高校でし すが、中学生になると酪農や地元か ある中でも家族で協力して遊びに出 ら離れたくなり、山形県の全寮制の 両親は酪農が好きで、時間の制約が かけるなど仕事と生活を楽しんでいま した。今思えば素晴らしいことなので 実家は道南瀬棚町の酪農家です。



農家を目指すことにしました。 だと気づき、酪農学園大学に進み酪 間を経て、酪農が一番素晴らしい職業が ことができました。 結果的に高校3年

うと生徒たちには伝えています。 気持ちよく過ごせるように心がけよ 生を受け入れているので、お互いに も知らない私に対してノルウェー人 ても嬉しかったです。本校でも留学 は分け隔てなく接してくれたのがと ることができましたし、言葉も文化 は休学してノルウェーへ。酪農を含 日本にはない技術や考え方に触れ 大学3年で単位取得を終えた後に

員をと思い平成20年に本校に採用さ 教えることの楽しさ、やりがいを感 通高校の理科教員に就いたところ、 帰国後、 それならば酪農に携わる教 就農資金を貯めるため普 生活ではいろいろな職業の家庭を知る れ現在に至っています。

どり着いたのだと思います。 期生で、 で父の姿を見て影響を受けここへた 自分で決めて歩んできた人生です 間勤め、父が退職して瀬棚に戻るタ 後再度本校で男子寮の舎監長を10年 校の前身である機農高校で理科教員 イミングで私が教員になりました。 しました。55歳で牧場を兄に渡した をして、それから瀬棚で新規就農を 実は私の父親は酪農学園大学の 考えてみるといろいろなところ 卒業後就農までの2年間本

> 環境が整いました。実家での就農を 年間でより幅広く農業を学べる教育 より稲作、和牛の実習も開始し、 営が増加傾向にあることから、

びの幅が広がりました。また複合経

昨年

3

# 現在の酪農とのかかわり

農コースは酪農専攻に加えて令和2 年度より作物園芸専攻を開設し、学 利用する牛舎・農場を管理し、 を通して生徒と関わっています。 現在は農場長として機農コースが 実習 機

> れたことを嬉しく思います。 の食を支える農業に興味を持ってく 家の生徒もいます。どの生徒も将来 業に憧れて新規就農を希望する非農 目指す農家の生徒のほか、北海道農 取り戻すために コロナ禍での空白期間 コロナには本当に生徒たちが辛

思いをさせられました。

オンラインと通学どちらでも希望で おり、各科目の実習に加えて当番制 、感染拡大に伴い授業は早い段階で 朝晩の牛舎実習もあります。コロ 本校は実践教育を中心に展開して

西川 謙さん **ത** 1日のタイムスケジュ-

ですが、

学年をまたいで将来に渡り続

あるがゆえに厳しい感染対策は必要

閉鎖したこともありました。

全寮制

所がなくなるほど蔓延してしまい、

それでも

時期隔離

5:30 **>** 牛舎実習指導 (搾乳·飼養管理実習) 7:30 圃場の現場スタッフ

との打合せ 8:00

学校での職員朝礼

授業準備·実習準備

9:40 9:50

8:15

8:30

1年生の畜産授業

10:40 10:50

牛舎の現場スタッフや 獣医師・授精師などとの 打合せ

12:00 12:35

2年生の畜産授業

13:25 13:35

3年生の総合実習授業

15:25 16:30

牛舎実習指導 (搾乳·飼養管理実習)

18:30 19:00

> レポート添削・ 授業準備·実習準備 など

農家実習を行 です。 年 るのですが、 めてしまうジレンマがありました。 を学べるカリキュ 道各地の酪農の 生で20日間、 **!を受けたのは酪農家での委託実習** さらにコロナでもっとも深刻な影 本校では1年生で6 昨 车 3年生で8日間の 3 年 特徴、 ラム 昨 蕳 年はすべ となって 経営スタ を通して北 百間、 酪 2

では

一辺のみの映像になり、

なかなか

けるものもあ

りますので、

オンライン

は作業動作のほかに音や温度、

など視覚以外の五感で感じ身に着

ることはありませんでしたが、

実習 に

きるハイブリット授業を取

り入れ

く深いつながりができる寮の良さを止

その

ため座学に関

しては遅

すべてを伝えることができず苦慮

通学に切り替えるタイミン

ますが、 えます。 同 時に進 ひとり 現場を見てあらためて酪農

きれいに手入れされた牛と牛舎

別の食事や朝礼の中止など、 の接触を最小限にするために、

それ以

入るのですが、

コロ

ナ禍では生徒同十

前の寮での生活習慣を変更せざるを

たため、

舎当番を調整するなど習

グはご家庭

0)

判

断でばらつきがあ

熟度に差が出ないように努めました。

酪農専攻の生徒は全員寮に

ため から 可 行 れ たさを強く感じています 酪農家さんから与えら こともあるからです。 る影響の 能であ まで当たり できなくなり、 てきた実習 て生徒たちに れば卒業までに 大きさとあり 前 が とっ あ 昨

習が おり、 続 習は技術の習得に 中 で指導も酪農家の皆様から頂 岸 1 7 できて そこでの出会い 現 いくことが多々あります が進路に向けての思いはあり 入学してきた段階で生徒 路選択にも大きな影響を与 在 の3年 な Ū に加えて、 0) 生は っです。 が将来に渡り 度も道内実 生活 酪農家実 面

連の を志す生徒もい 進み 職業やまたは別 たいと思い のように れ 始め ば 0) Ź 道 関

在考えているところです。

この2年間、

授業や実習、

にご迷惑にならない最善の

方法を現

う、

受け入れ先の地

酪農家さん

な

んとか道

を 域

実

できるよ



放課後は大学生高校生が一緒に作業する こともある

ń 5 车 農関係の

たちは残念に思っています。

この空白期間を取り

戻すため

に

減少してしまったことを本当に生徒

イベントなど学びの

機会が

酪農を通して成長してほ しい

模索していきたいと思います。

学校としても精査してできることを

実践. 時 0) 2 生徒たちは授業にも一生懸命 わってほし します。 一急に動きが良くなったり気付き 踏ん張りも効きますが 実 歩 L 《習毎に自分なりの目標を立 先 て、 中学生で進路を決めてきた の目標を設定すると、 ( し し できた時 と生徒 0) 達 にはよく 成 さらにそ 感感を 取 ある ŋ 組 味

変わる瞬間はこちらが見ていてもわ 増えるようになります。生徒たちが かりますし、 嬉しいです。

抱いていた夢を大切に3年間でたく 業がすべてではないので、 学んだうえで、実家の経営に合う手 営者としての知識、見る目が必要で けてほしいと話しています。 法、また自分のやりたい酪農を見つ て酪農家が編み出した牛にも人にも す。生徒が学んでいるのは長年かけ ません。牧歌的なイメージは酪農の 牛は自由だから幸せなわけではあり と思っている生徒もいます。しかし、 ほうが牛にとってのストレスがない の中には、つなぎ牛舎よりも放牧の ひとつではありませんし、学校の授 辺で、生業としていくためには経 番負担の少ない方法です。 入学して酪農に初めて触れる生徒 入学時に 答えは それを



生徒にも、 来は酪農家になるだけではありませ 決めていってほしいと思います。 を身に着け、人として成長してほし のことをちゃんとやることの大切さ てしまいます。 さんの経営形態を知り、 いてしまえば成長のチャンスを逃し 機農コースだからと言っても将 酪農家にならないからと手を抜 該 牧 酪農を学ぶ中で当たり前 酪農以外の道を進む 自分の道を 教育ファームとして地域の小学生

同強い思いを持って指導に当たってい 夢や希望に応えられるよう、 その中には一人ひとりの生徒がこれか 時間を過ごせ、そしてたくさんの経営 各地から集まった仲間と3年間濃密な ら自分の人生を設計し歩んでいくうえ 者・社会人と出会うことができます でのたくさんのヒントがあると思いま 本校は専門性が高いからこそ全国 本校を選び入学してくれた生徒の 教職員

いと思っています。

く見守っていただきたいと思います。 て大きく成長する生徒達の姿を温 ます。保護者の皆様には3年間を通し



地域住民が足を止めて眺めている ともあるそう

ま

昨年より開始した水田

### 協力して人材教育を 〜全酪アカデミーについて〜

晴らしいシステムだと思います。ぜひ 昨年設立された(一社)全酪アカデミー が大学進学を希望しますが、その後 実績を重ね、 志を持ちながらも窓口を見つけられ 介できれば、生徒たちの夢が具体的に、 示していただきたいです。本校は大半 とができる、酪農を志す者にとって素 までの道筋や将来を具体的に描くこ は、3年間のカリキュラムの中で就農 ずに苦労している例を見てきました。 進路のひとつとしてアカデミーを紹 本校の卒業生に限らず、 意欲のある若者に道を 就農の意

> も協力して人材を育てていけたら嬉し す。同じ目標を持つ機関として、今後 そして近いものになってくると思いま く思います。

# 憧れの職業であり続けてほしい

受け入れる活動も行っている

魅力ある日本酪農であり続けてほ 農現場で大きく羽ばたくためにも いと願っています。 も酪農の魅力を伝えていきたいと思 今後もこの気持ちを持って、 就農への憧れは持ち続けています。 信しています。そして私自身今でも を熱くさせる素晴らしい職業だと確 ときは自然とワクワクしますし、 農を通して育てられた一人で、これ 生徒と関わっていますが、 います。希望を持った若者が将来略 自分はありません。酪農の話をする までのたくさんの出会いなしに今の 私は現在教員として酪農を通して 自分も酪 生徒に

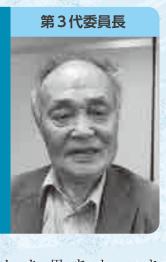
www.zenrakuren.or.jp/kaiho/)° ちらの記事もご覧ください (https:/ 校 を紹介致しました。本コーナー第17 情熱溢れる先生②」として西川先生 今回は「夢ある酪農に生徒を導く 伊藤有輝教頭先生(当時の実習部 (2019年1月号掲載) をご紹介しております。ぜひそ では同

### 特別記事

# 以大会に寄せて

多くの方の御指導、御協力のもと第50回の節目を迎えることとなりま 7月14日15日に開催する全国酪農青年女性酪農発表大会は、今年

長から思い出を振り返ったメッセージをいただきました。 本誌では、 大会主催者となる全国酪農青年女性会議の歴代委員



昭和59年9月~昭和63年7月

# (西日本) 天島昭義氏

動していた福島県飯館村 菅野典雄 した。特に原発事故による放射能被 東日本大震災、発生して早や11年 かつては同じ酪友として共に活 過去に例を見ない大災害で

出来、 あり、 が現地を案内していただき、 時は全酪連なり、関係機関からも 呼びかけました。…7月2日になっ 委員長さんだったみなさんに提案 思います。当時、大混乱の中でし となり、今日まで大変な状況下に さんは村長として3期目でした。 たが、早速、見舞に行く事を決意 てようやく菅野村長に会うことが 加いただき、合わせて10人以上 難い状況にあ然としました。この 全村避難という計画的避難区域 全国会議の6地方会議の正副 あまりにも悲惨で筆舌に尽く みなさんも御承知のことと 津波

> た宮城県の「石巻」にも足をのばし、 復興に全力を重ね、勇退されました。 3回訪問しました。 被害を中心に最も被害が大きかっ これ又悲惨な状況に言葉もない有 第4代委員長 菅野さんも4年前に6期24年間、 更に3年後、7年後と合わせ



昭和63年8月~平成2年7月

### 九 州 白鳥 惟吾 氏

ら牛乳が重宝されていたと記憶してい いた当時はバブル経済の真っ只中であ い申し上げます。私が委員長をして あたり、歴代委員長の一人としてお祝 年女性酪農発表大会が開催されるに 在の様に多種多様ではなかったことか 今回節目となる第50回全国酪農青 消費も右肩上がりで、飲料も現

現在、私は酪農から離れておりま

願っています。 を乗り越えていってほしいと心から は一層厳しさを増すばかりですが、 ライナ侵攻等、酪農を取り巻く現状 にかかっています。コロナ禍やウク すが、牛乳に関する報道はいつも気 全国の酪友の団結によってこの難局



平成6年8月~平成8年11月 (関甲信) 松山秀夫氏

ます。 大会の開催、 第50回全国酪農青年女性酪農発表 誠におめでとうござい

験の部にも農林水産大臣賞を戴くて 結果的に第27回大会から、意見・体 た大会となってしまいました。また、 26回大会は、「不正表示事件」によっ 長として務めました。思い返せば第 て農林水産大臣賞を授与できなかっ 私は、 第25回、 第26回大会を委員

思い出です。 たことなど、今でも「つらかった」 体験を審査することになってしまっ とになり、人間の価値観である意見・

ます。ここ10ヵ月来、赤字経営が続 (延べ) と総頭数100頭、 てきてよかったと全国の酪農青年 ました。これまで発表大会を続け 女性とともに喜びたいと思います。 そして、今、大会は第50回を迎え 私は現在、 18 haの酪農経営を続けてい 娘と二人の技能実習生 飼料作付面積

> がありますが、人間、等しく必要と 策が施されると信じています。就農 元し、 をもって前進しましょう。今は耐え する牛乳を生産していることに自信 以来これまでにない危機に全酪農家 て、とにかく働くことだと思ってい いていますが、 飼料高についても、 いずれ乳価も必ず復 諸々の対

周年に向かって、酪青女の理想の旗 を高く高く掲げ続けてください。 これからも未来に向かって、

 $\begin{array}{c} 1 \\ 0 \\ 0 \end{array}$ ます。 を受け、 した。 ぐに全酪連事件が起こり、その年の 全国大会中止ということもありま てきました。 50 回 全国会議には12年間携わっ [大会開催

第8代委員長

|平成12年8月~平成16年7月|

(西日本) 小河原 和宏 氏

荷しています。 を続けています。息子と搾乳ロボッ ト2台で年間800tの生乳を出 育成牛60頭、 神戸市北区で、 全頭自家産牛で酪農 成牛100 頭

> 時代の流れにマッチした発表大会 変えました。 として続けていただきたいです。 る発表会」ということから外れず、 トする奥さんと後継者に光を当て 発足の趣旨の「酪農経営主をサポー 男女共同参画の時代の流れ 名称を婦人から女性へと しかしこの発表大会

第10代委員長

平成18年8月~平成22年7月

棄 黒沢 寛寿 氏

で委員長を務めさせていただきま 念大会、 全国酪農青年女性会議第50回記 私は、 心からお慶び申し上げま 平成18年度から21年度ま

> ています。 した。現在は、 コツコツ酪農を行

副委員長になってす

おめでとうござい

覚えています。 10円値上げの回答があったことを 価値上げに理解を求め、 や流通グループなどを訪問し、 合飼料が高騰。 のバイオエタノール化が進み、 平成20年頃 米国 大手乳業メーカー でトウモロ 秋にキロ 乳 配

は最小限の40名程度でした。 はなくビデオ発表で、大会参集者 くされました。当時リモート技術 集は危険と判断し、 疫の感染が確認され、 で盛大開催の計画でしたが、 招き埼玉県の大宮ソニックシティ 回記念大会でした。 平成22年委員長最後の年が第 中止を余儀な 一般消費者も 酪農家の 口蹄 参 40

ほどではないにしても、 と誠に厳しい環境にあります。 燃料の高騰、 勢、急激な円安などで、飼料や肥料 長時代も似たよう環境でした。 現在は、 コロナ禍やウクライナ情 また生乳需給の緩和 私の委員 今

農青年女性会議がますます発展す ることを祈念いたします。 してこの難局を乗り切り、 全国の酪友の特に若い力を結集 全国酪

### 第11代委員長



平成22年8月~平成26年7月

(中部) 大井 幸男氏

ま大会の開催誠におめでとうござ表大会の開催誠におめでとうござ

私が委員長を仰せつかったのが平 私が委員長を仰せつかったのが平

翌年、東日本大震災による大会中止、東北・関東地方の酪友を励ますためのフォーラムの開催、また41回ためのフォーラムの開催、また41回ためのフォーラムの開催、また41回ためのフォーラムの開催、また41回たるように農林水産大臣賞を返還して開催いたしました。今思うと、激動の就任で舵取りが大変だったことを記憶しております。

また、幸運な事に私自身も30回大

ングポイントとなりました。
我が牧場の酪農経営の大きなターニ会で発表しており、私の人生及び、

酪農家が切磋琢磨する機会、酪農 を盛り上げて行こうとする姿勢、夢 と希望を語り合える場所、先輩方か ら連綿と続いているこの発表大会に 携わることができ本当に幸せでした。 最後に皆様のご健康とご多幸と、 全国酪農青年女性会議の益々のご発

第12代委員長

平成26年8月~平成30年7月

ました。

(東北) 半澤 善幸氏

この度、全国酪農発表大会5回目の節目にあたりまして、お祝いを申の節目にあたりまして、お祝いを申のが目にあたりまして、お祝いを申のがはない。

私の酪農青年女性会議とのかかわ

りは、地元 宮城県酪農農業協同組りは、地元 宮城県酪農農業協同組に、東北酪農青年女性会議の役員にに、東北酪農青年女性会議の役員になりました。その2年後に東北会議の副委員長、その後、委員長になり、の副委員長、その後、委員長になったのを機に力を入れてきました。

口蹄疫の発生や東日本大震災の発生はまさにその時期で、津波によりといいに行ったり、被災地にパック牛気を支援したり、自分の農場も被害乳を支援したり、自分の農場も被害があった中、下を向く暇もなく頑があった中、下を向く暇もなく頑があって乗り越えてきたんだなと今振り返って思っています。

性会議の委員長をさせていただき2015~19年に全国酪農青年女に、全国の監事、その後2期4年間、東北会議の委員長になるととも

解決できていない問題もあります。らの復興は少しずつ進んでいるものの、放射能汚染の問題は今もなお影の、放射能汚染の問題は今もなお影のを落とし、汚染牧草の処分や、生産を落とし、汚染牧草の場にないるもの

た4年間は、生乳の生産は前年割れ私が全国委員長をさせていただい

でいきましょう。

特に全国大会の開催時には、次世代の若者たちが大会に参加しやすいようにしたり、畜産系の大学生と役員との意見交換など、農林水と役員との意見交換など、農林水とでも前向きに酪農に向き合えるようなお手伝いをしようと心がるようなお手伝いをしようと心が

クラスター事業等の生産現場のテコ入れもあったおかげで、生乳生産は増産になった矢先です。あらためて記載するまでもない今までは考えることができなかった社会変化がおとずれ、余乳問題、生産資材高騰など大きな壁が立ちはだかっています。簡単なことではないとは思いますが、このような時だからこそ、私は全国酪農青年女性酪農発表大会で、皆さんで綱領唱和をする、統一綱領の一文を思い出します。

つぎの50年へ日本の酪農をつない て酪農の永続発展をはかろう。 ついっぱし、研鑽し

# 事業計画案

に諮ることになっています。催の理事会で承認され、最終的には7月28日に予定している通常総会展開しています。二年度目となる令和4年度事業計画は、6月15日開本会は、第十二次中期事業計画(令和3~5年度)に基づき事業を

て報告いたします。 以下に、第73年度(令和4年度)事業計画(案)の重点施策につい



### 基本方針

本会は、令和3年度に策定した新たな「全酪連将来ビジョン」の構築を目指して、酪農が直面する課題やSDGsに関する社会的要請に対応しつつ、実効ある行動を着実に積み重ね、成果を出さなければならない。

化、の事項ごとに施策を展開する。て、①酪農経営環境の安定化、②酪農経営環境の安定化、②酪農生産物の販売強化、④組織運営の効率化との販売強化、④組織運営の対率化との販売強化、④組織運営の対域がある。

# 11 重点実施施策

# 1 酪農経営環境の安定化

# ・ 搾乳用後継牛の確保

①各種研修会を通じ、搾乳用後継牛の確保を目指した経営展開に関する資料(「儲けるためにホルをつけよう」等)を用い、計画的なホルよう」等)を用い、計画的なホルスタイン授精、性選別精液の活用を啓蒙する。また、育成費用等のを啓蒙する。また、育成費用等のを啓蒙する。また、育成費用等の人、庭先購買の他、展示購買等もし、庭先購買の他、展示購買等もし、庭先購買の他、展示購買等もし、庭先購買の他、展示購買等も

③全国連としてのネットワークを活用し、平成30年度から継続となっ用し、平成30年度から継続となっている酪農経営支援総合対策事業(地域の生産体制強化事業の広域的な乳用牛預託推進協議会として引続連販売預託推進協議会として引続き参加し、都府県(福島・熊本)に設置した若齢預託牧場を活用し、配置した若齢預託牧場を活用し、酪農家の労働力の低減と自家産後継牛の確保を推進するとともに、から、おいいのでは、から、おいいのでは、から、おいいのでは、から、おいいのでは、から、おいいのでは、から、といいのでは、いいのでは、から、といいのでは、いいのでは、から、といいのでは、いいのでは、から、といいのでは、いいいのでは、いい

# 体制の構築の制造の構築がある。

①指定団体と連携して取引先乳業者の需要に応えるとともに、北福岡工場及び関連乳製品工場における乳製品製造を通じて需給調整を的乳製品製造を通じて需給調整を的乳製品製造を通じて需給調整を的系書間で協議の緒について、引き続き、議論に参画し具現化を図る。農乳業関係者間の協議を踏まえ、酪農乳業関係者間の協議を踏まえ、酪農乳業関係者間の協議を踏まる。作成を継続する。

# システムの更なる支援強化ののでは、システムのでは、一般をできます。

①DMSシステム利用者に対して、個別経営診断や蓄積データを集計・分析し、検証結果と課題解決計・分析し、検証結果と課題解決かための助言・提案を行う。 ②IT/ICT/IOTの活用により、 でゼンラク酪農簿記(Z-RABO)」の運用を当年度中に開始し、酪農番でせた。

析とその取組み提案を行う。取り組む生産者に対して、現状分取り組む生産者に対して、現状分

# 4 後継者の確保・育成

①新たに設立された酪農を支える人

農へ結びつける。

さいて、酪農就農を志す者へ知おいて、酪農就農を志す者へ知おいて、酪農就農を志す者へ知

②全国酪農ヘルパー協会と連携し、

# 5 組織強化の取り組み

支援する。

③会員役職員、監事を対象とした研の経営安定・強化に関する事項にの組織機能強化や会員農協組織の経営安定・強化に関する事項にの経営安定・強化に関する事のとは、

司を進める。一部とりを対率的に果たすため、機能の的を効率的に果たすため、機能の

### (6) 政策の提言

# 2 酪農経営の持続力向上

(1) **哺育飼料の供給体制の更なる強化** ①哺育飼料の供給体制の更なる強化 内外の大学等の外部研究機関と共同研究を継続実施し、生産現場での子牛の事故率低減や将来の泌乳 能力の向上に寄与する技術の開

る。製造と品質管理については、 体となって供給数量の拡大を図 管理から供給まで各関連部署が一

研修会を開催し、

組織機能強化を

更に強化する。日本ミルクリプレイサーと連携を

進め具体化する。
供給販路の開拓等も含めた検討を③供給数量の拡大に向けて、新たな

④購買事業に関わる職員の哺育に関 する知識の底上げを図るため、階 る。また、職員の哺育飼料への意 る。また、職員の哺育飼料への意 した職員への内部認証制度の運用 した職員への内部認証制度の運用

# する高品質な生産資材の供給

①会員と連携した指導購買の一層の①会員と連携した指導購買の一層の

②粗飼料事業について、本会子会社のゼン・トレーディングと一体となり、海外サプライヤーや海運会社との連携を強化し、世界的に厳しとの連携を強化し、世界的に厳しとの連携を強化し、世界的に厳しとのコミュニケーションを強化し、こーズにあった粗飼料を供給する。また、会員及び酪農家に努める。また、会員及び酪農家に努める。また、会員及び酪農家に努める。また、会員及び酪農家に努める。

③飼料添加物などの生産資材について、会員及び酪農家のニーズに合った製品や生乳生産の向上に資ける技術情報と製品の提案により、供給数量の拡大を図る。また、環境負荷に配慮した技術情報の収集を強化し、将来の製品供給の可能性を探る。

# ③ 生産性向上に向けた人員体制の

の連携を図り、従来の対面方式に②研修実施については、関係各所との教育プログラムを充実させる。の数にするべく、階層別・分野別

るとともに、 入れながら、 加えWEBなど様々な手法を取り 受講環境の充実を図 幅広い情報提供に努

③購買事業と畜産事業が一体となり、 ができる人材の育成を推進する。 多様な視点から会員・生産者の生 生産者の意欲を支えること 効率性を高めるサポートを

### **(4**) 向上 酪農経営における労働生産性の

①搾乳ロボットおよび哺乳ロボット 期的な情報共有を行う。 に、関係機関や各支所とともに定 に関する技術普及に対応するため

②IT/ICT/IoT技術を用い を構築する。 サービスの普及を支援する仕組み た製品の開発協力や生産現場への

③酪農標準作業手順書(デーリィ 進める。 め、牧場ごとの作業標準の整備を Navi)の活用方法の普及に努

### (5) 持続的な酪農経営に寄与する

①国内外の大学等の研究機関との更 また、酪農技術研究所の機能を拡 術や情報を製品開発に繋げていく。 なる連携強化を継続し、新たな技

> 2 もに、生産性向上に向けた製品の 新の生産技術情報を提供するとと 開発・供給と、 充し、製品開発を加速化する。 及を図る。 「全酪連酪農セミナー」により最 飼養管理技術の普

③飼料分析の活用促進では、分析セ 理技術の普及を図る。 では分析データを活用した飼養管 分析項目の拡充に努め、生産現場 ンターによるデータ集積の継続と

### 3 酪農生産物の販売強化

### **(1)** 乳製品製造販売体制の強化

①食品安全システムの構築につい ては、 FSSC22000(食品安全システム認 チームが主体となり、当年度 全安心な商品を提供する。 の取得を目指し、お客様へ安 昨年結成した食品安全

②自工場製品及び会員乳業者等から 図る。また、生乳需給上発生する 受注体制の構築等、営業活動の多 子商取引:Electronic commerce の外部仕入品の仕入販売体制の強 販売推進による収益基盤の強化を 角化により取引を拡大することに 化を図る。 加え、高付加価値品目の重点的な 販売面では、EC(電

> 脱脂粉乳・バターについては、積 の適正化を図る。 極的な販売促進により、 在庫水準

# 全酪ブランドチーズの販売推進

①従来の製造技術を継承し、新た ドチーズを市場展開し拡売を図る。 などの、独自性を持った全酪ブラン ルチーズ」に加え、国産乳原料を たプロセスチーズ「全酪オリジナ チーズ」、そして同商品を使用し に製造を開始した「全酪ゴーダ 定的に供給し続けるため、各委託 100%使用した「酪農家チーズ」

②委託製造先に移管された商品を安 製造・販売体制を構築し数量・売 上及び利益を確保する。 先と充分な連携を図り、計画的な

# 生体牛及び食肉の取扱いの強化

①酪農家で生産される初生子牛や肥 を消費者へアピールし、 リー性を持って有利販売を図り、 国産牛肉の生産を担っていること 安定供給を図る。また、酪農家が 構築するとともに、肥育農家への 強化し、より効率的な集畜体制を 食肉事業の拡大に努める。 育素牛については、会員と連携を ストー

> 体牛の取扱頭数の拡大に繋げる。 や肥育技術、食肉業界の知識を有 したスペシャリストを育成し、 4 財務体質の充実組織運営の効率化と

### 業務の効率化

①会議や打合せの開催においては、 的な運用に努める。 と実開催の有効性を見極め、 業務効率化の観点からWEB方式

②電子決裁やペーパーレス化を推進 るルールを整備する。 するため、文書の電子保存に関す

③データ管理や情報インフラの強化 に取り組む。

### (2)本会職員の確保・育成

③体系的な教育研修の更なる充実と ②多様な働き方や個性と能力を生か ①新卒採用の確保に向けた多様な働 境を整備する。 的に確保する。 きかけ、中途採用の通年実施を通 適正な人材配置により職員の成長 し職員の意欲を更に高める労働環 じて本会の職務を担う人材を継続

①全酪連グループ内の資金及び保有 を促す。 財務基盤の充実

②畜産事業に関する本会職員の人材

育成を行うことにより、選畜技術

か、 かつ適切な調達を図る 資産の効率的活用を推し進めるほ 必要な資金については安定的

②酪農環境の変化に対処していく上 努める た収支の確保と財務基盤の充実に の事業活動に備えるため、 今後、 必要となる設備投資等 安定し

# 基幹システム安定稼働

理システムの更新を行う。 基幹システムの安定稼働を図るた メーカー保守が終了する生産管

### 5 ガバナンスの強化

# 内部統制機能の強化

①制度変更に対応できる柔軟性と分 員の理解をより一層深める。 チャート」のリンクを完成させ、 とともに、 チャート」の様式の再統一を図る かりやすさの視点から「業務フロー 諸規程と「業務フロー 職

②子会社の「業務フローチャート」 「業務リスク一覧表」を一通り整 内部統制の強化を図る。

# コンプライアンス経営の推進

①コンプライアンス年間推進計画に 識の醸成を促すとともに、コンプ 員のコンプライアンスに関する意 研修・勉強会等を通じて職

> ライアンスに関するリスク・アセ スメントを実施する。

②事業関連法規の制定・改正情報を するとともに、適正な対応が行われ 収集し、遅滞なく関係部署に提供 るよう関係部署への助言等を行う。

### (3) 実効性向上 BCP(事業継続計画

1 要に応じて内容を改正する。 継続計画」及び「地震等防災対策 に対応するBCPの必要性を検 と事業継続計画」 「新型インフルエンザ対策と事業 最新の知見を基に検証し、必 の内容につい

②自然災害及び感染症以外の事 証する。 態

# 品質保証システムの継続的改善

①法令の改訂に併せて品質関連規定 置及び類似事項の再発防止策の指 する有効かつ継続性のある是正処 の内容を検証・整備し、工場が定 項目に組み込んで監査を行う。 について、作業確認を中心に監査 めた品質管理システムの運用状況 また、品質監査の指摘事項に対 助言を行う。

②乳製品工場においてはHACCP いて、 システムに基づいた衛生管理につ 配合飼料工場においては

> ③クレーム管理システムのデータを や GMP適合認証取得後の運用につ 支援する。 有効に活用し、 継続的な再発防止策の実施を 関係部署を支援する。 是正措置の構築

# 内部監査機能の強化

①内部統制の強化を促進するために 格取得を継続し推進するととも 職員の農業協同組合内部監査士資 的に、引き続き監査室職員以外の 自主検査及び内部監査の向上を目 当資格取得者に全国農業協同

> 組合中央会等が開催する内部監 関連研修会の受講を促し監査知識

②他部署と連携を図り監事及び会計 監査人と適切な情報交換を行い 内部統制の強化が更に高まるよう

①令和5年10月からのインボイス制 度に備え、本会の対応方針を決定 会員へ案内する。

②制度に合わせたシステム改修に着 手する。

### (1) 年度別売上高

		(単位:白万円 <u>)</u>
年度部門	令和3年度 実 績	令和4年度 計 画
酪農事業	7,111	6,363
購買事業	88,830	88,195
合 計	95,940	94,558

(注) 科目ごとの金額について、百万円単位未満を四捨五入した数値を 表記しているため、加減算値が合致しない場合がある。

### (2) 年度別経常利益

(単位:百万円) 令和3年度 令和4年度 度 年 実 績 計 画 796 経常利益 349

監査機能の改善に努める。 を深化させる。 インボイス制度への対応

### Cons

### 入賞作品紹介

「らくのうこどもギャラリー」に多数ご応募いただきありがとうございます。 総応募点数は205点でした。その中から12点の入賞作品を選出させていただきました。

### 特選



### 「正面からみた牛」

練馬区立大泉東小学校 6年(関甲信)

喜多 小雪

光の陰影を丁寧に観察することで立体感のある牛 さんが描けましたね。きりっと締まった緊張感の ある牛さんを描いた素晴らしい作品です。牛さん の表情には威厳があり、さながら肖像画を見てい るようです。背景に異なる色の絵の具の飛沫が配 置され、画面に広がりが生まれています。

### 宮島 径/写真家 (みやじま・けい)



1967年 長野県生まれ。

1991年 東京藝術大学美術学部芸術学科 卒業。

1993年 デーリィマン写真部入社

1997年 フリーランス・カメラマンとなる。

「surface」(PLACE M、東京) 「世界のしくみ」featuring麻里布栄 個展:2002年 2006年

(PLACE M、東京) 2010年 「日照時間/ The Daylight Hours」 (ギャラリー蒼穹舎、東京)

2016年 [One Another] (喫茶&ギャラリーウィリアムモリス、東京)

### 総 評 -----

第48回らくのうこどもギャラリーに多数の作品を応募 いただきありがとうございます。北海道、東北、関東甲 信越、中部、西日本、九州のブロック地区から応募され た作品205点の中から、特選、入選、秀作、ファミリー 賞、あすなろ賞の12点を選出させていただきました。今 年は、例年にも増してバラエティーに富んだ個性の強い 作品が多数寄せられ、審査は難航しました。今年の傾向 としては、6歳未満の園児による魅力的な作品が印象に 残り、また男子より女子の入賞作品が多く、関東甲信越 のブロックからの選出が集中したことなどが挙げられま す。全般的に力のある作品が揃っていたと思います。

なかでも、特選を獲得した喜多小雪さんの「正面から みた牛」は、光の明暗を色の濃淡で丁寧に描き分けてい て、牛さんの立体感がうまく表現できていました。幽玄 な牛さんの表情も強く心に残りました。入選1の大塚虹 七さんの「牛がうしろをみているよ」は、うしろを振り 返る体勢で描かれた牛さんの絵は初見で新鮮に感じまし た。またカラフルな色の配置が絵に躍動感を与えていま した。入選2の林映里さんの「うしさん」は、4歳児な らではの、おもいきりのいい筆さばきや、指に絵の具を つけて描かれた草など、画面全体から絵を描く楽しさが 伝わってくる元気な作品でした。

昨年はコロナ禍のため2年ぶりのこどもギャラリーの 再開でした。今年は応募点数がわずかに増えました。未 だ人の集まりや移動がままならない今日、酪農家や先生 方におきましては、牧場や牛舎で絵を描く際のご苦労を 察します。しかしコロナ禍や世界情勢に振り回される困 難な時代だからこそ、未来を生きるこども達の絵に希望 を感じます。この時代を生きるこども達の視線を通して 描かれた牛さんの絵は、本人を含め後世の人々にとって も貴重な証となるでしょう。毎年多くのこどもの絵を審 査することで、我々もいつも元気をいただいています。 たくさんのご応募、ご協力ありがとうございました。

浅野 智/画家 (あさの・さとし)

1964年 袖奈川県生まれ

東京藝術大学大学院美術研究科絵画専攻(油画) 1993年

修十課程

2000年 第11回 関口芸術基金賞 優秀賞 2001年 第12回 関口芸術基金賞

2016年 第1回 水崎国際芸術賞 協賛賞 2017年 文化庁 文化芸術推進事業 ドローイングの現在 NPO 法人withART 代表理事



下関市立豊北こども園 4歳(西日本) 林

画面をいっぱいに使って、牛さんの顔を描いたインパクト のある力強い作品です。迷いのない素早い筆運びからはス ピード感が伝わってきます。指に絵の具をつけて描いた草 の表現から描くことの楽しさが伝わってきます。



### 「牛がうしろをみているよ。」

寄居町立折原小学校 3年(関甲信)

大塚 虹七

牛舎の前で、頭絡を強く引っ張りながら後を振り向く牛さ んの姿が描かれた作品です。この体勢で描かれた牛さんの 絵はめずらしいです。とても斬新に感じました。牛さんの 毛並みは絵の具の濃淡や筆の走らせ方に工夫がみられ、動 物の肌触りが伝わってきます。画面全体はカラフルで躍動 感のある作品に仕上がってます。

### 入選4



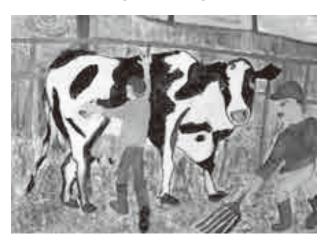
### 「も一もなくかわいい牛」

豊富小学校 4年(中部)

加藤 護莉

クレヨンと水彩絵具を上手に使って子牛さんを描いていま す。つぶらな瞳がとても可愛いですね。少し腰を引いた姿勢 が子牛さんの幼さを表しています。背景の柵や緑の描き方 にリズム感があり画面が軽やかに仕上がりました。

### 入選3



### 「もうすぐ赤ちゃん産まれるよ(気持ちいいなぁ)」

寄居町立用上小学校 4年(関甲信)

羽鳥 隆成

お産間近の牛さんの世話をする様子を、温かい眼差しで捉 えた作品。ブラシをかけられて気持ちよさそうな牛さんの 表情がよく描かれています。藁の描写も、丁寧に何層にも 色を重ね仕上げていて完成度が高い作品です。

### · 秀作 2



うしさんに

かんぱい!」 中島村立吉子川小学校 1年(東

ペン、水彩、クレヨンと様々な画材を駆使して描いた力作 です。ミルクの入ったカップを手に楽しそうです。踊るよ うな構図と生き生きとした表情の描写、画材による表現の 面白さ。全てに美的センスを感じさせる作品です。



「草を食べる牛」 会津若松市立謹教小学校 5年(東北)

草を噛む牛さんの様子を注意深く観察していますね。そん な葵さんの視線が強く伝わってくる素直な作品です。牛さ んの前脚の表現は、対象を何度も見返して絵筆を運んだ形 跡が見てとれて、現場の臨場感を強く感じます。縦の構図 で牛さんの前半身を切り取った画面構成も見事です。

### ファミリー賞



### 「かわいい牛達」

新潟県柏崎市北条小学校 4年 (関甲信)

江部 希唯

牛さんやネコや人が、牛舎の柵を使って分割された画面 に、巧みに配置されています。それぞれの小部屋ごとに個 性の違う牛さんが描き分けられ、にぎやかで楽しい絵に仕 上がっています。6コマ漫画のような、画面の構成や構想 が見事にはまった充実した作品だと思います。



### 「一ぴきの牛」

田村市立滝根小学校 6年(東北)

太田 一稀

目にはプラスチックの義眼が使われ、鼻は細かい紙が貼付 けられ、体毛はもふもふのファーの生地が直接貼られ、さ まざまな質感が混在する作品でとても面白い絵に仕上がっ ています。絵画というより半立体作品と言えそうです。

### あすなろ賞1



### 「虫と仲良くする牛」

砦保育園 5歳(九州) 村上 結愛

たくさんの色のクレヨンを使ってカラフルに描いた作品で す。牛さんも虫さんもみんなニコニコ楽しそうです。素直 な眼差しと自由な発想で子どもらしく、のびのびと描けま したね。私もお気に入りの一枚です。

### ファミリー賞2



### 「牛さんのおさんぽ」

清泉保育園 5歳(九州) 徳永 ゆい

色鉛筆を使い、力強いタッチでお散歩する牛さんたちを楽 しく描いています。色彩的にも豊かさがあり、素早いタッ チはのびのびとして画面に躍動感を与えています。見てい るこちらも、ウキウキ楽しくなる作品ですね。



### あすなろ賞2



### 「かわいい牛さん」

認定こども園北陽幼稚園・第2北陽保育園 4歳(北海道)

石田 菜緒

水彩やクレヨンを大胆に使って描かれた素朴で味わいのあ る作品です。なにやら柔らかい物体が大地に降り立ってい るようにも見えます。4歳の時にしか描けない水彩の筆使 いやクレヨンの指圧など、いとおしさを感じます。

### 北海道

### ●北海道酪農青年女性会議

北海道酪農青年女性会議で は例年道内の保育園やこども 園を訪問し、委員による酪農の お話しやクイズ、牛着ぐるみの はなこちゃんとの触れ合いを実 施してきましたが、新型コロナ ウィルスにより過去2年間は自 粛していました。今年は未だコ ロナウィルスが収束しない中で

はありましたが、できることから再開しよう!と、江別 市及び千歳市の幼稚園・こども園に牛乳とミルメーク をプレゼントしました。短時間の訪問となりましたが、 現在の厳しい酪農情勢の中でも子どもたちの成長に 欠かせない安全で美味しい生乳の生産を徹底してい ることへのご理解を先生方にお伝えし、「牛乳飲んで大 きくなってね」と園児代表に牛乳を渡しました。来年以 降は状況を見ながら、また訪問活動を再開したいと考 えています。





前編

全国略農青年女性会議による「父の日に上乳を贈ろう!キャンペーン」が、 今年も全国各地で開催されました。今年も5月末~父の日である6月19日日 を中心に、各地域において特色のある活動を全国で展開しました。 2カ月で渡って、各地で実施されたキャンペーンの一部をご紹介します。



### ●東北酪農青年女性会議

「父の日に牛乳を贈ろう!| 父の日の前日6月18 日出に、東北酪農青年女性会議(委員長;斎藤忠 義)は、せんだい農業園芸センターみどりの杜(宮 城県仙台市若林区) において、全国各地で行われて いるキャンペーン同様に活動を実施しました。4月 に理解醸成活動を行った際、消費拡大に関する活動

に手ごたえを感じられたことから、十分な感染症対 策の下同じ会場でこのたびのキャンペーンを実施し、 ツール600セット(ミルメーク、パンフレット)を 来場者へ配布しました。翌日が父の日ということも あって「なるほど!」とうなずく人も多く、大変手 ごたえのある活動となりました。







### ▶東毛酪農業協同組合 6月19日(日) 第9回 麦とろフェス ティバル

場所:道の駅おおた 内容: 牛乳の無償提供や、 ミルメークやツー ルを活用しながら、 「ミルクとろろ」を 紹介し、牛乳消費

を呼びかけました。



▲ 協賛品配布風景

### ●茨城県酪農青年女性会議

水戸駅構内において、消費者にミルメークを配 布し、「牛乳月間|「牛乳の日」における牛乳消費 拡大キャンペーンを複数回実施しています。





### ●岐阜県各地で「牛乳の日」「牛乳月間」のイベントを開催

6月1日例の「牛乳の日」に先立ち、 5月28日出に「牛乳月間」のイベント が岐阜県内各地で開催されました。県内 4か所で、地元牛乳の試飲や、PRパン フレットとミルメークの配布を行いまし た。岐阜公園では、岐阜城や金華山登山 に訪れた方々がイベントブースに立ち寄 り、「冷たくておいしい! | と牛乳をごく ごく飲まれていました。





### ●大山乳業農業協同組合 青年部会、酪農女性部

• 6月4日 (土)、5日(日)

場所: 大山まきば みるくの里

内容: 牛乳月間イベントを開催。骨の健康度チェックや、ミルメークパン フレットの配布を行い、牛乳の消費拡大に努めました。

### • 6月16日休

場所:鳥取県庁

内容: 県庁を訪問し、鳥取県 産の牛乳とカフェオレ を贈呈しました。鳥取 県の酪農支援と牛乳 普及を依頼しました。





### •6月18日生

場所:大山乳業直売所: カウィーのみるく館

内容: 直売所で父の日イベントを 開催。骨の健康度チェック や、ミルメークパンフレッ トの配布を行い、牛乳の消 費拡大に努めました。





### ●おかやま酪農協女性部・青年部

6月2日休、岡山県庁を訪問し、 伊原木県知事に県産牛乳と県産生 乳を使用したヨーグルトの目録を贈 呈。また、安全安心でおいしい県 産牛乳を届けるため、引き続きの 支援を依頼しました。



JR岡山駅前では、リーフレッ トとミルメークアソートを配布 し、牛乳の消費拡大をPRしまし た!!











### 愛媛県経営者協議会

6月14日(火)、関係者5名が愛媛県庁を訪問 し、県知事へ県産牛乳・乳製品を贈呈。

飼料高騰など不安な情勢の中、酪農経営への 意気込みや、子供たちへ酪農の魅力を伝える大 切さと共に、牛乳・乳製品のPRを行いました。

今回は初の試みとして乳牛等身大模型を用意 し、生産者と知事が搾乳を体験しました。





### 山口県酪農青年女性会議

### • 6月10日金

山口県酪農青年女性会議と山口県酪農乳業協会はてど も食堂へ、県産牛乳とミルメークを贈呈しました。





### •6月18日生

農水産物販売イベント「はぎマルシェ」会場にてミル メークやパンフレット・ツール配布及びポスター等の掲 示により酪農のPR、牛乳消費拡大活動を行いました。





### ●佐賀県酪農婦人部連絡協議会

佐賀県酪農婦人部連絡協議会およびJAグループ佐賀畜 産振興協議会は、6月1日例に佐賀市内の三瀬保育園にお いて、就学前の園児に栄養豊富な牛乳を飲んで健康で元気 になってもらおうと県産牛乳を贈呈しました。園児の保護 者向けにはリーフレット等を配布し、多様な牛乳の効能に ついてPRを行いました。

また、当保育園のほかに、能古見保育園(鹿島市)、くりの み保育園(唐津市)にも同様に牛乳の贈呈を行いました。尚、 牛乳は来年の3月まで10ヶ月間、月2回継続して届けます。



Ш

### ●熊本県酪農女性部協議会

6月6日间、熊本県酪農女性部協議会(富田裕美 会長)は、「父の日に中乳を贈ろう!キャンペーン」 の一環として、熊本県庁・九州農政局を訪問しまし た。全国で展開されているこのキャンペーンは、熊



▲ 九州農政局へ贈呈

本県の酪農家さんのアイデアで始まったものです。 知事への挨拶は3年ぶりの対面式となり、「おい しい! | というお言葉をいただきました。



▲ 蒲島熊本県知事 集合写真(©2010熊本県くまモン)

### ●鹿児島県酪農青壮年女性会議

鹿児島県酪農青壮年女性会議では、 鹿児島県庁や各市町村を訪問し、牛 乳・乳製品の贈呈を行いました。



6月1日(水) 鹿児島県 知事訪問



6月13日(月) 南種子町町 長訪問



◀ 6月13日(月) 中種子町長 訪問



◀ 6月13日(月) 西之表市長

### ●長崎県庁を訪問し、乳製品を贈呈

長崎県酪農青年女性会議などの代 表者は、6月1日(水) 長崎県庁を訪問し、 副知事へ県産の牛乳とチーズを贈呈 し、消費拡大のPRを行いました。県内 の酪農経営についても意見交換を行 い、副知事からも、「牛乳は栄養豊富で子 どもから大人まで飲みやすいもの。牛 乳への理解を深めて消費拡大につなげ てほしい」と激励をいただきました。





▲ 集合写真



▲ 副知事贈呈

試飲

### 長崎県酪農青年女性会議・ 長崎県酪農業協同組合連合会

開催日:6月19日(日)

内容: 小浜温泉ジャカランダフェ スタにて牛乳やツール等を 配布し、観光客に対しての理 解醸成活動を実施しました。



▲ 6月19日(日) ジャカランダフェスタ

### 酪農TOPICS

### 名古屋 支所発

### 中部酪青女会議主催 「農林水産省 東海農政局長への牛乳贈呈式」の開催

中部酪農青年女性会議(森富士樹委員長)は、6 月6日側に東海農政局を訪れ、小林勝利東海農政局長 に牛乳を贈呈し、牛乳の消費拡大の PR を行いました。

情報交換の場では昨年からの東海地域における牛 産現場もコロナ禍による影響、飼料高騰など酪農情勢 が逼迫していることを報告しました。

あわせて本年度の当会議の活動計画、第50回全国酪農 発表大会の開催など多岐にわたり情報交換を行いました。

中部酪農青年女性会議は安全面に配慮しながら今 後とも積極的に酪農家のために啓蒙活動を推し進め、 また良質で安全な牛乳の安定供給と牛乳の消費拡大に 努めて参ります。 (T.K)



▲ 片桐農政局次長 挨拶



▲ 森委員長 挨拶



▲ 小林農政局長への牛乳贈呈式

### 名古屋 支所発

### 岐阜県酪農青年女性会議主催 「岐阜県知事への牛乳贈呈式」の開催

岐阜県酪農青年女性会議(西尾直樹委員長)は、 6月8日(水に古田県知事への牛乳贈呈式を行い、県内 の酪農情勢について意見交換を行いました。地域の 酪農を守り、今後もおいしい牛乳、乳製品を消費者に提供していくために、今後とも活動を続けてまいります。 (F.S)



### 名古屋 支所発

### 愛知県酪農協青年女性部主催 「父の日メッセージコンテスト」選考会開催

愛知県酪農農業協同組合青年女性部(栗田なおみ部長)は、例年『お子さんからお世話になった方へのメッセージコンテスト』を開催しています。例年は優秀作品に選ばれた御家族へ青年女性部部員が直接ご家庭に訪問し乳製品の贈呈式を開催していますが、今年はコロナ禍の影響を鑑みて、選考会のみを行う形で6月9日に開催いたしました。

今年も 100 通以上の応募があり、どの作品もお子

さんからお父さんをはじめとしたお世話になった方へのまっすぐなメッセージが書かれていました。審査を行った審査員の皆さんはお子さんのメッセージを見て、ご家庭の様子を想像し、温かい気持ちになりながら優秀作品を選考しました。

来年は是非とも優秀作品に選ばれた御家族へ青年 女性部部員が直接ご家庭に訪問し乳製品の贈呈式を 開催できることを心から願っています。 (F.S)





### 福 础 支所発

### 3年ぶりの開催!「ハッピーミルクフェスタ2022」 主催:九州生乳販売農業協同組合連合会

6月4日出、牛乳月間の催しとして、イオンモー ル福岡(福岡県糟屋郡粕屋町)で九州生乳販売農業協 同組合連合会(中村隆馬代表理事会長)主催の九州 Love Milk Club presents 『FM 福岡 ハッピーミル クフェスタ 2022』が3年ぶりの開催となり、大勢 の来場者が楽しまれていました。

フェスタには九州酪農青年女性会議委員も各県の ハッピを着用して参加し、牛乳乳製品を利用している 消費者へ、日頃の感謝を伝えるとともに、牛乳や酪農 に関心を持ってもらいファンを拡大する機会に委員の 皆さんも笑顔で会話を弾ませていました。

会場ステージでは、牛乳トークショーや牛乳クイズ 大会、料理研究家トークショーが行われ、中村会長を 始め九州酪青女から大山委員長(宮崎県)や吉田委員(福 岡県)、狩野委員(佐賀県)、稲田委員(熊本県)が登壇し、 日頃の牛乳愛飲や酪農談議に花を咲かせていました。

また、搾乳・哺乳・飼料を体験してもらうスタン プラリーには親子で順番待ちする列ができるほど大人 気。LL 牛乳や理解醸成グッズのプレゼントにお子様 たちは喜んで『ありがとう!』、『牛乳飲むよ~』『牛 乳大好き♡』と元気に手を振ってくれました。会場周 辺では、リーフレットとミルメークの配布を行い、来 客の方々に牛乳の消費拡大と酪農家の現状を呼びか け、用意していた 3,000 セットはあっという間に配 り終えてしまいました。

九州の酪農家が団結し、消費拡大・理解醸成活動 が盛り上がったイベントとなり、酪農経営環境が厳し い中ですが、酪農家の皆さんが前向きに自分の出来る 活動をしていく姿勢が、消費者の応援をもらう一番の 力になると思えた一日でした。 (T.S)



牛さんのえさコーナ



▲ 子うしさんコーナー





参加賞プレゼント☆



▲ 左から稲田委員(熊本)・吉田委員(福岡)



左から、九酪青女大山委員長 九販連中村会長



▲ 狩野委員(佐賀)

### 福 岡 支所発

### 「みやざきミルクフェア2022 | 開催

6月4日(土)5日(土)の2日間、宮崎県経済農業協同組合連合会(坂下栄次代表理事会長)は、イオンモール宮崎にて「みやざきミルクフェア 2022」開催し、酪農理解醸成・牛乳消費拡大活動を実施しました。

新型コロナウイルス感染防止対策のため、例年行っていた牛乳の試飲や手作り教室は実施できませんでし

たが、ミル子の牧場体験・ステージイベント・ワークショップ等、多くのお客様に参加していただきました。 来年度は、実際に牛乳・乳製品に触れ合っていただけるような内容でイベントを実施できればと思います。 (A.N)

### ●本物そっくり模型牛「ミル子」の搾乳体験は途切れることなく大人気でした



### ●牛乳パックの小物入れや扇子も大好評



▲ 牛の工作体験





▲ ミルクコンサート



▲ 宮崎県産牛乳の特設コーナー

### 酪農部 発

### 全国農協乳業協会「令和4年度定時総会」 及び意見交換会の開催について

酪農部が事務局を担っている全国農協乳業協会(会 長:大久保克美東毛酪農業協同組合代表理事組合長) において、令和4年6月16日に定時総会が Web 併 用のハイブリット形式(実会場: KKR ホテル東京「朱 鷺|) で開催されました。昨年度が完全 Web 開催で あったため、2年ぶりの実会場に集まる総会となりま した。

当日は、大久保会長の最近の酪農乳業情勢を交え た挨拶から始まり、来賓としてお招きした厚生労働省 医薬・生活衛生局食品監視安全課課長 三木朗氏より、 食品の衛生管理等に関し消費者への安全安心な牛乳乳 製品の提供について依頼を交えた挨拶がなされ、最後 に農林水産省畜産局牛乳乳製品課課長 大熊規義氏よ り、昨今の酪農乳業界における情勢と今後取り進めら れる消費拡大運動及び脱脂粉乳在庫削減対策へのより 一層の理解・協力の依頼を交えた挨拶を頂戴しました。

定時総会の議事については、「【第一号議案】令和 3年度事業報告及び決算の承認に関する件」につい て協議され、原案通り可決承認されました。結びに、 樋口豊彦副会長(日本酪農協同株式会社 代表取締役 社長)より、閉会の挨拶を頂戴いたしました。

総会終了後、昨今の新型コロナウイルスやウクラ イナ情勢、円安等に起因する酪農生産現場や製造現場 におけるコスト増加に伴う会員経営状況等について意 見交換を実施しました。参加者からは、「農協プラント」 は今後とも酪農家に一番近い乳業者としてあり続ける ことが重要とのご意見等があがり、その他、闊達な意 見交換がなされました。

今年度事業についても、全国農協乳業協会は会員 事業者の負託にこたえるべく、ハイブリット形式の会 議であっても、様々な情報交換の場や研修会の開催な ど活動を続けていきたいと考えております。 (A.Y)



▲ WEB参加者の様子



### ▲ 森村祐治さんと奥様

縄文時代にまでさかのぼり、「縄文 つて日本海と畿内を結ぶ「若狭街 います。 遺跡」や「古墳」が数多く点在して この地の歴史は1万年以上昔の 現在の国道303号は、か

### 地域の紹介

ど豊かな自然にめぐまれ、若狭ふ り、北部は若狭湾のリアス式海岸の 楽しむことが可能です。 800m級の山々が連なり、登山も は滋賀県と接しており、県境には の幸も楽しむことができます。南部 ぐ・うなぎ・アオリイカといった海 狭町は福井県の西部に位置してお 国名水百選「瓜割の滝」、近畿一 条約に登録された「三方五湖」、 福井県若狭町唯一の酪農家です。若 牧場は、福井県経済農業協同組合連 合会に所属しています。森村牧場は 部を形成しています。ラムサール )い川とされる1級河川「北川」な 今回訪問させていただいた森村 美

物群に選定されています。 町 いました。街道に沿って栄えた宿場 道」として多くの物や文化が行き交 「熊川宿」は国の重要伝統的建造



三方五湖

牛を第一に考え

理も経営も細やかに

### 森村牧場の沿革

考えを持つようになりました。しか たらこうする・こうしたい」という 治さんは「もし、自分が牧場を持っ 学び、気付きを得ていくうちに、祐 場での仕事を通じて、様々なことを の従業員として働いていました。牧 業を営みはじめました。就農する以 年の3月に新規就農者として酪農 し、牧場を経営している方の方針な 牧場主である森村祐治さんは、 祐治さんは滋賀県のとある牧場 昨

ばならないことなど、不安なことは ての目線で物事を考え判断しなけれ としての目線ではなく、経営者とし で酪農をやってみないか。」という 畜商の方から、「空き牛舎があるの さんでしたが、 家出身であること、今までの従業員 お話をいただきました。自身が非農 して牛の管理の仕事をしていた祐治 その後滋賀県の農業高校の職員と 縁あって福井県の家

それでも自分のやりた 多くあったそうですが、 決意しました。 嬉しさが勝り、就農を いことができるという

り、

加えて国産イタリアンと輸入チ

▲ 牛舎内の様子 準備し、 乳牛を導入し、 残っていなかったため、 機械や設備はほとんど バルク以外はゼロから 入後すぐに搾乳を開始 廃業予定の農家から搾 奈良県をはじめ各地の 人もゼロからはじまり、 した。もちろん牛の導 空き牛舎といっても 設備を整えま 牛の導

> がら搾乳し、 市から毎日片道8㎞の距離を通いな からひと月ほどは滋賀県の近江八幡 の職員として働いていたため、 しました。 就農直後はまだ農業高校 牧場仕事をこなしてい

たそうです。

どもあり、自分の考えをいざ実践し

ようと踏み切ることができなかっ

### 経営の概況

成牛は全酪連の預託を利用してお 牧主である祐治さんと奥様の2名 います。 餌や繁殖などは祐治さんが担当して 子牛の世話を担当し、それ以外の給 和牛子牛も1頭飼育しています。育 3頭に加えて、和牛繁殖親牛を1頭、 森村牧場は今回お話をうかがった 3頭を預けています。 作業内容 ホルスタイン成牛24頭、 奥様が搾乳前準備・後片付け、 哺

ります。 うです。 快適かどうかチェックすることもあ リーナーが設置されています。加え でパイプラインミルカーとバーンク て細かく調節するようにしているそ おり、365日牛舎内の温度に応じ てトンネル換気システムを採用して て牛舎内は暑熱・サシバエ対策とし 牛舎は対頭式のタイストール牛舎 飼料はTMRを購入してお 時には牛床に実際に寝て、

仰っていました。

の放牧に利用したいと祐治さんは

今後は放牧地を整備し、

育成牛

は放牧地として利用できる場所もあ モシーも購入しています。敷地内に たそうです。



▲ 牛舎内トンネル換気

牛床を掃除しているのも時間が 搾乳牛を約2時間かけて搾乳して います。 行います。森村牧場では20頭ほどの 日々の仕事について 朝6時から搾乳準備をし、 祐治さん曰く、 「搾乳時に

業を進めています。 ことが無いように観察しながら作 ることやミルカーが落ちてしまう 加え、過搾乳やミルカーにエアが入 態で泌乳できるようにすることに りから一定時間おいて搾乳するこ たい』からです。」とのこと。 やらないことで牛の負担を減らし かる一因ですが、 番の理由は、 牛の泌乳準備が整った良い状 搾乳に時間をかけ 『あえて要領よく 前絞

ほか、

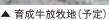
TMRの選び食いを起こして

思いから、

暇があればエサ寄せを行

なく無駄にせず食べてほしいという

しまうことがあるため、飼料を万遍



乳房への負荷がかかりすぎないよう す。12時間間隔で搾乳を行うことで、 夕方も午後6時から搾乳を行いま 1 夫されています。作業を終えて自宅 いるそうです。 戻るのは夜の9時以降ですので、 日のほとんどを牧場で過ごされて 牛の負担を減らせるように工

ながら作業をされているそうです。 べく牛舎内にいて、牛の観察を行い うようにされています。日中もなる

想定の範囲内ですし、 捨てているところもあります。でも この仕事を始めたため、 最初から大変なことは承知の上で 祐治さんは「自身の都合では 行動したいと思っています。そ なるべく牛の都合を優先に考 自分たちの生活はある程度 現在は順調に この程度は

> 仰っていました。 いるという感じはしています。」と 経営できておりしっかりとやれて

くらいから給餌を行います。

給餌は 9 時

搾乳後は飼槽の清掃を行い、

度に全量を給与せず1日何十回も

## 力をいれていること

す。一度に大量の餌を給与すると牛 細かく分け、エサ寄せを行うそうで

への引き込みが多くなってしまう

期が来たら人工授精師(受精卵移植) の資格を生かし必ず直腸検査を行っ をとにかくこまめに観察し、発情周 情兆候を見逃さないように1頭1頭 ら繁殖には力を入れてきました。 就農し、 経営を開始した時点 発 か

ます。」 けではスキルが足りないところは手 牛を外側と内側から観察し、 にせずに諦めないことを心がけてい る牛の繁殖問題を1頭1頭解決して 助けしてもらいながら、飼育してい 殖専門の獣医師の方にも月に一度来 います。 の来ない牛を見てもらっています。 ていただき、 加えて、滋賀県にいらっしゃる繁 繁殖の課題はほったらかし 種付けが悪い牛や発情 自分だ

### 今後に向けて

す。 いくことが第 餇 そのためには無駄を省いていく 料の高騰などの状況を踏まえ 将来を見据えて経営を続けて 一だと考えておりま

祈念申し上げます。

後とも森村牧場のご健勝とご発展を

こと、また、取材にご協力いただい

材を快く引き受けて下さいました

この度はコロナ禍の情勢下の中

あとがき

た皆様に深く御礼申し上げます。



▲ どの牛もリラックスしています

ます。」 で大雑把にするのではなく、 ことが重要ですので、どんぶり勘定 しっかりと計算して経営していき 何事も



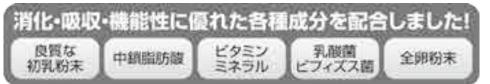
初乳粉末製品

免疫グロブリン 70g/袋以上 含有

### 初乳が足りない時、イザという時の備えに

○作業性は「3楽」 ~溶かすも楽、給与も楽、片付け作業も楽々~

何かと余裕がなく、慌ただしい子牛の分娩。溶解性に優れているグッドスタートプレミアムを使えばスムーズです。





### 全酪連の購買製品カタログ(全国版)はこちら

代用乳・配合飼料・添加物・酪農・畜産機材類 掲載

地域によって、取扱いがない製品もございます。 詳しくは各支所へお問い合わせください。

### 代用乳製品

### 生まれた子牛は強化哺育®にお任せくださし

### ホルスタイン雌子牛 強化哺育®用

全酪連は2005年1月に搾乳後継雌牛のための『強化哺育®・育成 体系』を発表、強化哺育®用代用乳『カーフトップEX』を供給してま いりました。以来、全国各地でご利用いただき、子牛の発育と健康 面における大幅な改善、初産分娩の月齢短縮や体格向上、初産乳 量増加などの好結果に絶大なるご支持を賜ってまいりました。全酪 連・酪農技術研究所では、自家産の雌牛を対象に、哺育体系の違い (『標準体系』vs『強化哺育®』)を比較するための飼養試験を1998 年より継続してまいりました。これまでの5年間のデータを哺育期・ 育成期・初産乳期について集積・比較した結果を要約すると、初産 分娩月齢は22.3ヶ月でほぼ同一、初産分娩後体重は強化哺育®区 が596.2kgで+23.7kg、初産乳期乳量は強化哺育®が9,682kg で標準より+822kgという結果でした。

### 和牛·F1子牛 強化哺育®代用乳

強化哺育®の効果を和牛子牛やF1子牛に応用するために『カーフ トップEXブラック』を開発、2007年夏より供給開始し、全国の 肉用素牛の体格を大幅に改善して注目されております。肉用素牛に おいても、強化哺育®によって、過肥にならず、フレームサイズが大 きく、飼料摂取に優れた育成管理が重要であり、全国で自動哺乳機 による和牛・F1子牛強化哺育®事例が普及しつつあります。「カーフ トップEXブラック」は、ホルスタインよりも生時体重の小さい和牛 やF1子牛のエネルギー充足を満たすためにエネルギー濃度を 上げ、更に粉末初乳を加えて便スコアの改善を考慮しています。

### お問い合わせ先



### 全国酪農業協同組合連合会

帯広事務所 0155(37)6051 遊北事務所 01654(2)2368 程度制在尚事務所 O1537(6)1877

札幌支所 011(241)0765 仙台支所 022(221)5381 銅路事務所 0154(52)1232 2東北事務所 019(688)7143 大阪支所 06(6305)4196 南九州車務所 0986(62)0006 東京支所 03(5931)8011 北関東事務所 027(226)6851 栃木事務所 028(689)2871

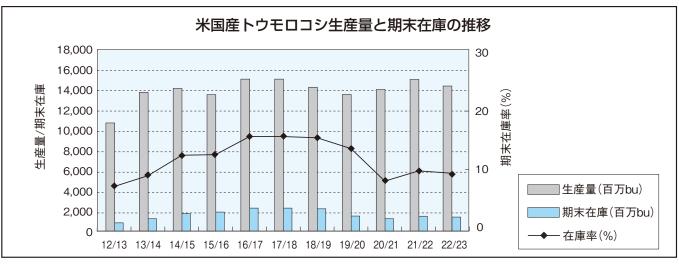
名吉屋支所 052(209)5611 中四国事務所 0868(54)7469 近畿事務所 0794(62)5441 三次事務所 0824(68)2133

福岡支所 092(431)8111



### 令和4年6月

		21/22年産	22/23年産		
6月10日発表	作付面積 (百万工一カー)	93.4	89.5		
	単 収(ブッシェル/エーカー)	177.0	177.0		
米国農務省   トウモロコシ	生 産 量 (ブッシェル)	151億1,500万	144億6,000万		
常給予想	需 要 量 (ブッシェル)	148億9,000万	145億7,000万		
	期末在庫 (ブッシェル)	14億8,500万	14億		
	在 庫 率	9.97%	9.61%		
トウモロコシ相場動向	作付の大幅な遅延から例年並みの進捗までに回復したことでシカゴ相場は一時的に下落したが、再度米国や南米での天候が悪くなると反発し底堅い動きを見せている。生育状況もまだ初期段階ではあるが乾燥が続くとさらに相場を押し上げる可能性が高いため注意が必要。				
大豆粕相場動向	中国におけるロックダウンの影響に伴う経済活動縮小懸念からシカゴ大豆相場は一時軟化していたものの、ロックダウンが解除され中国向けの買付もあり反転して、高止まりしている。また、国産、輸入大豆粕ともに円安の影響から、前期比大幅な高値圏内で推移している。				
糟糠類	【一般フスマ】 ふすまの発生量は引続き減少傾向にあり、逼迫する他糟糠類との兼ね合いから引合いが強く配合率も変動していないことから7-9月期は値上げの改定となった。				
	【グルテンフィード】 スターチメーカーは稼働期となり供給は緩和傾向にあるものの、原料トウモロコシ価格高騰や内航船 運賃値上げ、円安の影響や中国産の発生減少に伴う輸入品の価格高騰により、相場は堅調に推移している。				
海上運賃	5月のフレート市況は、上下しながらも横ばいに推移していた。ロシアによるウクライナ侵攻によって黒海沿岸での船の滞留により船腹需給がタイト化していること、ロシア石炭の輸入停止の動きが加速する中、EU各国がロシア炭の代替として豪州、南アやインドネシアからの石炭調達を拡大しており、今後荷動きが活発化する恐れがあることから堅調に推移する見込み。				







### 輸入粗飼料の情勢 命和4年6月

北米コンテナ船情勢	北米西海岸のロサンゼルス港・ロングビーチ港沖合では、依然として30隻前後のコンテナ船が滞船しています。滞船数は年始より減少しており、5月上旬より一時期、減便していた日本向け直行便のスケジュールも毎週の運航に戻り、年末年始の最悪期に比べ状況は改善傾向にあります。他方で日本向けの直行便が寄港するターミナルでは、引き続きターミナル内での混雑や、人員不足から輸出向けコンテナのターミナルへの返却日数が2日程度しかないため、各輸出業者、対応に苦慮しています。シアトル港・タコマ港では、本船の沖待ち状況は改善しつつありますが、経由地であるバンクーバー港で引き続き1か月近い滞船となっており、タコマ港を出港してからバンクーバー港を経由し日本到着まで45日程度の航海日数を要している状況です。加えて船社より6月下旬から3週間タコマ港から出港する東京、大阪港向け直行便の抜港が発表されており、引き続きPNW(タコマ港・シアトル港・バンクーバー港)から出港するコンテナ本船の混乱が予想されています。北米西岸港湾労組(ILWU)と船社・ターミナル会社の使用者団体(PMA)との労働協約の交渉は5月10日から開始されています。5月下旬より10日程度の中断を挟み6月1日より再開されていますが、交渉の進展はない状況です。今後も経過に注視が必要です。
米国乳価について	USDA(米国農務省)の発表によると、4月の全米平均クラスⅢ乳価(チーズ向け乳価)は100ポンドあたり\$24.42と昨年8月以来9カ月連続で上昇しています。世界の主要産地では、生乳生産量が減少傾向にあるなか、昨年の夏場以降、米国産乳製品の価格が国際的に優位性を持ったことで、脱脂粉乳だけでなく、チーズやバターなどの輸出も増加傾向にあり乳価を押し上げています。昨年8月のクラスⅢ乳価15.95ドル/CWT=40.8円/KG(為替130円で試算)から上昇をはじめ、今年4月の乳価は24.42ドル/CWT=62.5円/KGとなっており、9カ月で21.7円/KG上昇したことになります。この乳価上昇のインパクトは大きく内需の購買力を増進させ、西海岸ではアルファルファ相場を牽引しています。米国では毎月乳価の変動があるため、乳価が好調なうちに高品質な上級品牧草の確保と危惧される旱魃への備えとして、牧草の在庫を積み増したい思惑から牧草の買付が進められています。
ビートパルプ	【米国産】 産地では天候不良により遅れていた22-23年産ビートの播種作業が終盤を迎えています。一方で一部の地域で播種前に洪水に見舞われたため、播種作業が大幅に遅延した圃場や、作付けそのものを断念した圃場も発生しており、豊作であった21-22年産に比べると生産量の減少は避けられず、今後の天候次第では前年比10万t近くのビートパルプの生産減少が見込まれています。ビートパルプの市場については、堅調な内需に加え、海外からの強い引き合いから、産地相場は上昇しています。特にヨーロッパからの引き合いが強い状況です。背景にはビートの主要生産国であるフランスでの旱魃の影響や、これまでヨーロッパの多くの需要を満たしてきた世界最大の生産国であるロシアから調達ができなくなったことで代替産地として米国への引き合いが強くなっています。
アルファルファ	【ワシントン州】 主産地であるコロンビアベースンでは、5月中旬から南部で22年産1番刈の収穫作業が開始されています。産地では生育期である4-5月に降雪を伴う寒冷な気候が続き、生育は例年よりも3週間程度遅れている状況です。産地では5月中旬以降、断続的な降雨に見舞われており、雨当たり品が多く発生し輸出向けの上級品の発生は限定的です。また産地及び、近隣州の酪農及び肥育農家の牧草在庫率が低いことから、雨当たり品であっても高値で取引されており、産地相場は内需に牽引され昨年同期比で大幅に上昇しています。また生産スケジュールが大幅に遅れていることから、2番刈以降の生産に影響を及ぼす可能性もあり、例年産地では4番刈まで収穫されますが、22年産は3番刈の生産で終える可能性があり、生産量の減少が懸念されています。
	【オレゴン州】 オレゴン州南部クラマスフォールズ及び、中部クリスマスバレーでもワシントン州同様、冷涼な気候が続いており生育は遅れています。22年産1番刈の収穫はクラマスフォールズで例年よりも1-2週間遅い6月中旬頃から、クリスマスバレーでは6月中下旬から開始される見込みとなっています。産地では昨年より旱魃が解消されておらず、牧草の在庫率の少ないカリフォルニア州の酪農家及び肥育農家から収穫前にも関わらず22年産の引き合いが来ており、相場上昇が懸念されています。
	【カリフォルニア州】 カリフォルニア州南部インペリアルバレーでは、現在3番刈の収穫が終盤を迎えており、圃場よっては4番 刈の収穫が開始されています。3番刈は1番刈、2番刈同様多くの上級品が発生しましたが、直近では連日最高気温が40℃を超えているため、成分は低下しており中級品から低級品の発生が中心となっています。加えて4番刈からは牧草の収穫から種子の生産に切り替える圃場も増えています。産地相場は引き続き堅調で、中級品及び下級品も上級品同様大きな幅で上昇しています。
チモシー	【米国産】 主産地であるワシントン州コロンビアベースンでは例年より冷涼な気候が続いており、ゆっくりとした生育となっており、圃場での見た目は良好で、葉付きの良い、柔らかなチモシーの収穫が期待されています。今後の天候次第では、南部で6月中旬頃から1番刈の収穫が開始される予定です。もうひとつの主産地であり、非灌漑にて多くのチモシーが栽培されているアイダホ州でも、ワシントン州同様冷涼な気候のなか生育が続いています。産地では5月上旬に適度な降雨があった事から、生育状況は良好です。
	【カナダ産】 主産地であるアルバータ州中部クレモナ地区では、冷涼な気候のなか、生育は例年よりも遅れています。一方4-5月にあった降雨は非灌漑で栽培するクレモナ地区にとって土壌水分の回復に寄与しましたが、例年に比べ降雨量が少ないことから、今後収穫期に向け更なる降雨が望まれています。同州南部のレスブリッジ地区でも例年に比べ生育は遅れています。5月に数回の降雨があったものの、旱魃の改善には至っておらず、地域によっては牧草の生育が芳しくないため、例年6月から開始される放牧が、今年は7月まで延期しています。レスブリッジ地区においても7月の収穫に向けまとまった降雨が望まれています。
スーダングラス	主産地であるカリフォルニア州南部インペリアルバレーでは、5月中旬より22年産の収穫が順次開始されています。 一部の生産者では、他の牧草や穀物の相場を鑑み、ベーリング前にも関わらず、既に22年産を輸出業者に向け高値で提示しています。肥料や燃料費、人件費等の生産コストが上昇し、21年産比で高値になることが予想されるなかで、どの程度の相場になるか引き続き相場には注視が必要です。なお産地灌漑局から発表された5月12日付時点の作付面積は35,030エーカー(前年31,647エーカー)と、前年同期比110%程度で推移しています。 ▲ 22年産スーダングラス 6月上旬 インベリアルバレーにて撮影
クレイングラス	クレインは全略連の登録商標です。 主産地であるカリフォルニア州南部インペリアルバレーでは、1番刈の収穫は終盤を迎えており、圃場によっては2番刈の収穫が開始されています。これまで収穫された1番刈の品質は良好で柔らかな上級品の発生が中心となっています。一部で刈遅れや雑草混じりの品質が発生したものの、上級品と変わらない値段で内需向けに販売されています。産地のクレイングラスに対する需要は非常に旺盛で、21年産の繰り越し在庫のない日本及び韓国の顧客向けに買付を進める輸出業者と、粗飼料の在庫率が低く、旱魃の懸念から早期に粗飼料を確保したい内需の引き合いから、産地相場はアルファルファ同様、21年産よりも大幅に上昇しています。
バミューダ	主産地であるカリフォルニア州インペリアル群灌漑当局から発表された、5月12日付時点のバミューダグラスの作付面積は61,718エーカー(前年同期62,117エーカー)と、前年同期比99%となっています。直近のバミューダ種子の相場が良いことから、ほとんどの圃場で種子の生産が行なわれており22年産バミューダへイの生産量は例年に比べ減少することが懸念されています。また一部の圃場で生産されているバミューダへイも大半が、米国内の馬糧向けに販売される予定で、種子の生産が終了しバミューダへイの生産が本格化する、夏場まで輸出向けの供給は限定的になる見込みです。
ストロー類	輸出向けストローの主産地であるオレゴン産北部ウィラメットバレーでは、4月から5月にかけて適度に降雨があったため生育状況は良好です。22年産の作付面積は前年比で微増しており、この地域では昨年よりも旱魃が改善していることから、単収は21年産よりも増加する見込みです。今後の天候次第ではアニュアル種とフェスキューが6月下旬から7月上旬にかけて収穫が開始されます。
オーツヘイ	【豪州産】 22年産オーツへイの播種作業は概ね終了しました。5月は全域で十分な降雨があったため、土壌水分が回復しており順調なスタートとなっています。一方で高騰する穀物相場を背景に、産地の生産者は換金性の良い小麦や菜種などの作付を増加させており、22年産オーツへイの作付面積は地域により21年産比で10-20%程度減少する見込みで、20年産と比較すると少なくとも30%程度減少することになります。この22年産の作付面積減少を受け、オーツへイの先高を期待し、21年産の在庫をすぐに売却せず、売り時を待つ生産者も出始めています。



### 酪政連活動報告

令和4年5月~6月

自由民主党は総合農林政策調査会、食料安全保障に関する検討委員会・農林部会、

畜産・酪農対策委員会の合同会議を開催し、

日本酪農政治連盟からは佐藤哲委員長と柴田輝男副委員長が出席する。(於 自由民主党本部)

• 佐藤委員長は飼料・肥料等の資材価格高騰に対する支援を要請する。

5/31



自由民主党は酪政会を開催し、93名(代理含む)が出席する。

日本酪農政治連盟からは三役・顧問はじめ各県委員の計 65 名が参加する。

(於 衆議院第一議員会館・多目的ホール)

• 佐藤委員長は生産コストの上昇による酪農経営の危機的状況を訴え、 資材価格高騰に対する支援を要請する。



6/8

三役会議、中央委員会

(於 衆議院第一議員会館・多目的ホール、会議室)



6/14

自由民主党は総合農林政策調査会、食料安全保障に関する検討委員会・農林部会、 畜産・酪農対策委員会、畜産振興議員連盟の合同会議を開催し、

日本酪農政治連盟からは坂本保幹事長が出席する。(於 衆議院第二議員会館)



新	旧		氏	名	
■令和4年7月1日付異動発令					
監査室長	名古屋支所長 兼 酪農課長	田	中	晴生	Ė
名古屋支所長 兼 指導組織課長 兼 酪農課長	名古屋支所 次長 兼 指導組織課長	炬	П	浩青	ij
購買生産指導部付出向 石巻飼料㈱ 代表取締役社長	監査室長	白	鳥	建机	封

### INFORMATION



### 乳牛產地情報

### 令和4年7月 ★……やや弱含み ↓……弱含み

釧路事務所

札 幌 支 所 TEL 011-241-0765 TEL 0154-52-1232

根室駐在員事務所 TEL 01537-6-1877

带広事務所 TEL 0155-37-6051 道北事務所 TEL 01654-2-2368

価格状況 ★強含み ▼やや強含み →横這い ★やや弱含み ↓弱含み 道 北 事 務 所 TEL 01654-2-2368				
事務所	畜 種	相場(万円)	価格状況	管 内 状 況
	育成牛(10-12月令)	22~32	1	札幌管内の6月中旬までの生乳生産量前年比は、函館管内月計で101.3%、累計で102.7%、苫小牧管内月計で97.0%、累計で97.7%の実績となっております。7月の初妊牛動向といたしまして、
札幌管内	初 妊 牛	47~57	1	10月分娩腹が中心となります。管内市場相場は弱含みで推移したことから、庭先購買においても同様にやや弱含みに推移するものと見込まれます。腹別では雌雄選別腹の出場頭数がF1腹と比較す
	経 産 牛	22~32	<b>1</b>	ると減少しております。管内、優良牛や高能力牛の多い地域でもあり、上クラスの初妊牛を取り揃えることが可能ですので、価格が落ち着いているこの時期に導入することをお勧め致します。
釧路管内	育成牛(10-12月令)	28~38	1	根釧管内の6月中旬までの生乳生産量前年比は、釧路管内月計で99.4%、累計で100.5%、中標津管内月計で100.0%、累計で101.6%の実績となっております。7月の初妊牛動向といたしまして、9月下
	初 妊 牛	50~60	1	旬~10月分娩が中心となります。6月の管内乳牛市場がやや弱含みで推移したことから、庭先購買でもやや弱含みとなるものと見込まれます。夏分娩のため導入は減少傾向となりますが、比較的冷涼
	経 産 牛	28~35	<b>1</b>	な地域であれば暑熱のリスクも低いことから導入があると考えられるため、急激な相場の下落は考えにくい状況です。腹別では、雌雄選別腹、F1腹ともにやや弱含みの状況となっております。
帯広管内	育成牛(10-12月令)	23~33	<b>→</b>	帯広管内の6月中旬までの生乳生産量前年比は、帯広管内月計で101.8%、累計で102.9%の実績となっております。7月の初妊牛動向といたしまして、10月分娩腹が中心となります。市場回数が1回となり出場頭数も増えた一
	初 妊 牛	50~60	<b>→</b>	方、購買者も増えたことから、相場は横這いで推移しており、庭先購買についても、横這いで推移すると見込まれます。腹別では、F1腹が雌雄選別腹より引き合いが強い状況です。また和牛受精卵移植腹に関しては、資源も豊富な
	経 産 牛	25~35		うえ、系統の良いものが取り揃えられる状況です。育成牛につきましては価格帯としては横這いであります。 物と上物の価格差が開いてきております。経産牛につきましては、やや弱含みの相場となると見込まれます。
道北管内	育成牛(10-12月令)	25~35	1	道北管内の6月中旬までの生乳生産量前年比は、稚内管内月計で99.0%、累計で101.4%、北見管内月計で99.7%、累計で101.8%の実績となっております。7月の初妊牛動向といたしまして、9月下旬~
	初 妊 牛	45~55	1	10月分娩となります。資源頭数は前年並み以上であると予想されます。都府県では残暑が続く時期での分娩のため導入は少なく、道内では生乳生産抑制が続いているため、庭先購買価格は弱含みに推移す
	経 産 牛	25~35	<b>1</b>	ると思われます。経産牛においても初妊牛と同様の状況になるかと予想されます。また、育成牛につき   ましても、資源頭数の増加傾向が見込まれ、相場としてはやや弱含みで推移すると思われます。

道内の6月中旬までの生乳生産量前年比は100.3%、累計で101.8%の実績となっております。道内では1番刈りの収穫 がほぼ終了する時期となっています。7月の初妊牛動向といたしましては、10月分娩が中心となります。相場は道内 外の購買意欲の減少から引き続き軟調で推移すると見込まれます。中でも雌雄選別腹は弱含みのため購買しやすい状況 となっております。夏分娩から秋分娩へ移行する中で、極端な相場上昇は無いと見込まれ、しばらくは導入しやすい環境 が続くと思われます。資源については、各地域増加傾向となっておりますので、導入計画がございましたら、お早めに弊 会担当者までご連絡いただき要望に合った搾乳用素牛を供給して参りますのでどうぞ宜しくお願い致します。

道内総括

育成牛(10-12月令)

初 妊 牛

経 産 牛

28~38

47~57

25~35

今月の表紙は「第11回酪農 いきいきフォトコンテスト」に 応募いただいた作品「ミルク 混ぜは、私の什事!!|(福島県 福田千鶴氏撮影)です。



令和4年7月10日発行(毎月1回10日発行) 全酪連会報 7月号 No.682

- ●編集・発行人 工藤文彦
- 発行 全国酪農業協同組合連合会

〒151-0053 東京都渋谷区代々木一丁目37番2号 酪農会館 TEL 03-5931-8003 https://www.zenrakuren.or.jp/

### 編集後配

- ●先月は牛乳月間でした!
- 全国各地では「父の日に牛乳を贈ろう!」キャンペーンを展 開していますので、本誌を通しその活動をご紹介しておりま す。今後も様々な活動を通して、牛乳消費と酪農への理解醸 成を図るPR活動を行っていきたいと思います。
- ●今年の「らくのうこどもギャラリー」には全国から205点の 応募をいただきありがとうございました。厳正な審査の結 果、選ばれた入賞作品をご紹介しました。新型コロナウイル スの感染も収まらない中、ご応募いただきました皆さまには 心から感謝申し上げるとともに、来年もより多くの応募をお 待ちしております。
- ●会報に関するご意見・ご要望等があれば、以下のアドレスに メールをいただければ幸いです。
  - shidoukikaku@zenrakuren.or.jp



特選

### 正面からみた牛

9999999999999999

練馬区立大泉東小学校(関甲信)6年 喜多 小雪

### 今月の入賞作品は…

### 練馬区立大泉東小学校(関甲信)6年の喜多 小雪さんの作品です。

光の陰影を丁寧に観察することで立体感のある牛さんが描けましたね。 きりっと締まった緊張感のある牛さんを描いた素晴らしい作品です。牛さんの表情には威厳があり、さながら肖像画を見ているようです。背景に異なる色の絵の具の飛沫が配置され、画面に広がりが生まれています。



賞作品紹

※この作品は本会と全国酪農青年女性会議共催の「第48回らくのうこどもギャラリー」で全国205点の応募作品から入賞12点に選ばれたものです。